

令和2年度第2回高梁市公共交通会議議事録（要旨）

日 時：令和3年2月12日（金）10：00～11：40

場 所：高梁市役所 3F 大会議室

1. 開 会

会議成立報告

2. 会長あいさつ

3. 議 事

議事1 タクシー利用助成制度（実証事業）について

（事務局補足説明）

- ・1月末登録者数59名（交付金額708,000円）、うち利用券を使用した方33名、使用された利用券数364枚（利用券金額182,000円）、当該地区65才人口に占める登録者9.2%（質疑・意見等）
- ・利用周知の徹底をしてほしい。文書を配って待っていても登録が増えない。地域へ足を伸ばして周知を図るべき。
→事務局：地域コミュニティの会合で説明し、参加者から周りに声掛けをお願いしている。ご意見のとおり周知は重要なので、一層呼びかけたい。
- ・周知は重要。乗合タクシーでも知って使ってみれば便利と理解できる。懸念は利用が一定時間帯に集中することはないか、タクシーの供給が追い付かないようなことはないか。
- ・現在はコロナウイルス影響下であり、これがレギュラーシーズンとなった状態は分からないが、現状では回っている。

—議事承認—

議事2 第2次計画に基づく実施計画（案）の策定について

（質疑・意見等）

- ・廃止が先行しているイメージがある。数字を追うばかりで、利用者アンケートなどで利用できない方はなぜ利用しないのか、何が問題なのかを検証して、乗ってもらうようにしないといけない。
- 事務局：2月に巨瀬地域で公共交通説明会を予定している。第2次計画についても説明し、乗らなければ無くなってしまいう現状をお話しし意見を聞きたい。
- ・市内全体に広く説明してもらいたい。
- ・5,000万円の削減はバス事業に向けられていると感じる。組合として労働者の立場から危機

感を持っている。市内は広域化している中で採算ベースは土台無理で、社会インフラとして、市が補助をすることは必要。これでは市内事業者が無くなってしまふのでは。一度事業者がなくなると再度事業者は出てこないのので、市が交通インフラを維持していく必要が生じる。性急に進めるのではなく、スパンを長く持って考えていくべきではないか。

→事務局：路線の見直しにあたっては事業者と協議しながら進めたい。高梁市の状況も変化しており、変化に対応していく必要がある。ご協力をお願いしたい。

・観光交通の面から、成羽町吹屋は日本遺産認定ジャパンレッドで観光に力を入れる時。吹屋への観光タクシーを安くという話もあるが不合理。今ある路線を活かした方がよい。タクシー等公共交通は、生活福祉でもあるが、産業振興につなげることも必要。

→事務局：ご意見のとおり、市が進める観光振興など各種施策とも協調が必要。廃止も含めた見直しとしているが、路線の個々の状況により時間帯の見直しによる縮小なども含めて協議していきたい。

・市内は範囲が広い。備中中学校の統合で平川、田原の人が減った。人が減ったためにバスに乗る人が減り、平川へのバス路線が廃止される。資料を見ると、前回会議で平川の路線は「廃止を検討」となっていたものが「廃止」となっている。簡単に言葉を変えてしまう。私たちも生きて行かないといけない。

→事務局：路線見直しについては、次の議題で詳しく説明させていただきたい。

・行政として血を流す必要があるのではないか。他市でも、シニアは半額、公共料金は無料にするなど事例はある。バス事業者としても安全対策等徹底しており、削減ありきでは、重大な事故が起こり得る。ぜひ検討をいただきたい。

—議事承認—

議事3 令和3年度の路線見直しについて（案）

（質疑・意見等）

・特になし

—議事承認—

議事4 スクールバスの公共交通における活用について

（質疑・意見等）

・スクール専用バスの混乗は、到着地を病院や官公所など、どこまで考えているか。

→事務局：スクール専用バスなので、地域から学校までを最短で安全に運ぶことを基本と考えているが、経路上にある場合にどこまで対応できるか、教育委員会と協議していきたい。

—議事承認—

議事5 備中松山城観光乗合タクシーおよび備中松山城雲海展望台観光乗合タクシーの
料金改定について（案）

（質疑・意見等）

- ・ 特になし

— 議事承認 —

4. その他

- ・ 岡山市の公共交通会議にも委員として参画しているが、ICカード導入し高齢者半額などの取り組みも進められている。高梁市でそういった計画があるか。
→ 事務局：キャッシュレス化の検討も進めているが、車両すべてに搭載するような方法は、高梁市では難しいため、移動式の車載ICカードリーダー等の研究も行っている。

5. 閉 会